



永井 利明 議員
誠進会

問 中学校広島研修の意義は

答 平和学習の習得

問 この研修の始まりは。また、他市町村実施状況は。
答 教育長 23年度より、平和体験として実施しているのは本市のみ。



▲しげるちゃん弁当

! 当時中学生だった茂くんが被爆し、真っ黒になったお弁当を再現したもの。

問 事後、研修のまとめをどんな場面で発表しているか。
答 2学期は全校生徒の前で、3学期は学年PTAで報告会を開催。



▲研修では広島平和記念公園などを訪問し、平和教育を実施

問 一過性の取り組みではいけない。その後の追跡調査は。
答 広島研修を体験した新成人へのアンケート調査を行った。80%が自身の意識が変わったと回答。

問 この世界から核をなくさなければならぬ。市長の考えは。
答 市長 平和都市宣言の取り組みの一つが中学2年生全員による広島研修であり、恒久平和を願う心を育んでほしい。

問 アダプトプログラムの導入は
答 行政改革の一環として考える

問 地域づくり補助金交付団体になるには。
答 総務部長 規定する要件に該当すること。

問 交付団体数の移り変わりは。
答 23年度の85団体をピークに減少傾向。29年度は56団体。

問 アダプトプログラムとは。
答 市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで美化を進めること。

問 アダプトプログラムを導入している自治体は。
答 西尾張9市の内7市。

問 本市での導入予定は。
答 現在予定はないが、今後調査研究する必要がある。

問 導入する場合、地域づくり補助金との兼ね合いは。
答 環境保全・環境美化分野を除くことにするのか、継続するのか検討が必要。

問 アダプトプログラムに対する市長の意見は。
答 市長 新しい制度の導入は、行政改革の一環として考えていく。